

内科



福本 学

お酒で赤くなる人とがんの話

アルコールを飲むと顔が赤くなる人は食道がんになるリスクが高いことは、テレビなどでもとりあげられ、ご存知の方も多いと思います。アルコールからできたアセトアルデヒドを分解するために必要な酵素ALDH2が足りない人は、顔が赤くなるだけでなく、食道、口腔内、喉にがんができるリスクが高いのです。「自分はそんなに大量に酒を飲まないから」、そう思われている方も、1日に日本酒1合、ビールなら430ミリリットル、ウイスキーだと65ミリリットル

程度を週に5回飲むことで、ALDH2が多い人の5〜7倍もがんにかかりやすいと聞けば、他人事ではないでしょう。酒を飲み始めたころは弱くてすぐ赤くなったが、今はかなり飲めるようになったという人は、酒量が多い分さらにリスクが高いのです。対策は、飲む量を減らし、機会を減らすことにつきます。そして内視鏡による定期的な検診をお勧めします。

内科

新百合山手福本内科

☎955-8877

麻生区万福寺6-7-2

メディカルモリノビル2F

<http://www.fukumotonaika.jp>

